

月刊 社会保険 2

2025 VOL.895

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

【事業主の皆さまへ】
人材開発支援助成金(人への投資促進コース)のご案内

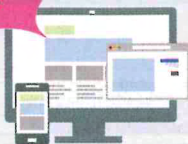
【事業主の皆さまへ】
職業経験の不足などから就職が困難な求職者等を試行的に雇用する事業主の皆さまへ
トライアル雇用助成金(一般トライアルコース)のご案内

【事業主の皆さまへ】
2025年4月から、男性労働者の育児休業取得率等の公表が
従業員が300人超1,000人以下の企業にも義務化されます

働き方・休み方改善ポータルサイトを活用して
働きやすい、休みやすい職場をつくりませんか?

【企業・団体における人材開発に関心のある皆さまへ】
厚生労働省認定 職業能力検定について



社内回覧
などにも
便利!

2月号Web版

今月号はこちらよりご覧になれます▶

<https://www.zensharen.jp/ebook/2502/>
パスワード: kovj5

【事業主の皆さまへ】 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）のご案内	4
【事業主の皆さまへ】 職業経験の不足などから就職が困難な求職者等を試行的に雇用する事業主の皆さまへ トライアル雇用助成金（一般トライアルコース）のご案内	8
【事業主の皆さまへ】 2025年4月から、男性労働者の育児休業取得率等の公表が 従業員が300人超1,000人以下の企業にも義務化されます	10
働き方・休み方改善ポータルサイトを活用して 働きやすい、休みやすい職場をつくりませんか？	12
【企業・団体における人材開発に関心のある皆さまへ】 厚生労働省認定 職業能力検定について	14
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員の役割と委員会活動の変化 岩田地崎建設株式会社 大阪支店 総務部長 井川 康治	16
労働法のポイント 第34回 時間単位の年次有給休暇 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
新たな時代の働き方改革 チームで成果を上げる巻込み 第10回 ファーストペンギンになり、異質との融合で巻き込む 株式会社クロスリバー代表取締役 CEO 越川 慎司	20
書評 原 武史 著 象徴天皇の実像—「昭和天皇拝謁記」を読む	22
がんを治療する人のウェルビーイングを支えるために 第10回 がんと診断されたときからの悩みに、緩和ケアができること。 NPO 法人キャンサーリボンズ 編	23
食べて元気！楽しい食事の秘訣 第15回 春野菜でダイエット 管理栄養士 健康運動指導士 NR・サプリメントアドバイザー 菊池 真由子	26
ストレスと上手につき合う12の秘訣 第10回 ストレス臭ってご存知ですか？ 匂いと臭いの違い 特定保健指導（通称メタボ指導）認定支援機関 株式会社けんこう総研代表取締役社長 タニカワ久美子	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/労働保険編 34 特定社会保険労務士 柳田 恵一	30
介護保険の基礎講座 第22回 介護保険施設④ 介護老人保健施設 介護支援専門員・社会福祉士 伊藤 直美	36

社会保険委員の役割と 委員会活動の変化

岩田地崎建設株式会社 大阪支店 総務部長

井川 康治



会社の紹介

当社は、1922年に岩田組として創業し、その後、岩田建設株式会社を設立、2007年には、株式会社地崎工業と合併、岩田地崎建設株式会社として新たにスタートをいたしました。そして2022年には創業100年の節目を迎えることができました。

当社は、北海道はもとより東北から九州に至るまで、「安心で豊かな社会環境づくりに貢献する」をミッションとし、営業基盤を築いております。

快適な住空間の提供・自然にやさしい街づくりは、次世代にかけがえのない財産を遺すこととなります。今日まで、私たちは自然を整備することで、豊かな暮らしを得てきました。当社もその豊かな暮らしに貢献すべく、技術の向上と研鑽に努めてまいりました。創業100年を迎えた今、当社に求められているのは、これまでと違う「新しいステージ」での有り様であり、その創造です。

生産性の向上を図るための積極的な取組、そして働き方改革の実現に向けて業界のみならず、社会の動向、技術の進歩等にも注視しながら新しいステージでの展開を行ってまいります。

これらを踏まえ、当社は、これからも「人と自然の最適環境をつくる企業」「地域から頼りにされる企業」・「個々の成長を促す企業」の3項目をビジョンに掲げ、社会に貢献し、企業としての存在価値を認めていただける会社であり続けるよう、誠心誠意、努力してまいります。

社会保険委員として

社会保険委員の役割は、「企業と行政のパイプ役」と言われてきました。今も変わらず、そのとおりではありますが、私は「社員と行政のパイプ役」として、「社員の立場に立った相談員」でありたいと考えています。

近年のインターネットの普及により誰もが簡単に情報を得られる時代になりました。

しかしながら、社員一人一人にしてみると、「年金」複雑で解らないもの」という認識に変わりはありません。だからといって、年金相談に年金事務所へ出向くのは、社員にとっては難しいのです。そんなときこそ、社会保険委員の出番なのです。

では、社員のために社会保険委員ができることは、なんでしょうか？社員誰もが年金について考える時とは、いつでしょうか？年金定期便

等が定期的に手元に届く時はもちろんですが、やはり受給権が発生する誕生日の数カ月前に日本年金機構から年金の裁定請求書が自宅に届く時に年金を意識するのだと思います。

社員の方々がいろいろな諸手続きの仕方やセカンドライフに不安を抱えているのも事実です。

社会保険委員として、そのような社員に個別に相談に応じたり、「セカンドライフセミナー」のような外部で開催される講習会を紹介しています。

また、札幌西年金事務所様より講師を派遣頂き、社員を対象にした「年金セミナー」を社内で開催しています。内容は、年金制度の概要、在職者年齢年金制度、年金裁定請求書の記入方法の3項目を中心に行っています。

終了後に参加した社員にアンケートをお願いしたところ、今後も継続的に実施してほしいという意見が大半を占めました。

これらの活動により、定年後の第2の人生がスムーズにスタートできるように出来る限りの支援をしていきたいと考えています。

委員会活動

われわれ札幌西社会保険委員会は、北海道の中でも多くの事業所を

管轄する代表事務所である札幌西年金事務所のもと組織されています。その委員会の中で会長職を仰せつかっております。委員会役員のみならず、年金委員のみならずの協力を頂きながら、その責務を果たすべく努力をしているところです。

事業の中心は研修会で年に2回、8月と2月に開催しています。近年のホームページの充実により参加者が減少傾向にあります。

社会保険委員および企業の事務担当者の知識向上を担う研修になるよう内容についても対面で実施する研修会だからできることを模索し企画しています。

また、参考図書として、年金委員の方々に「年金委員必携」を毎年配布しています。

今後の委員会活動を考えますと、社会保険委員の減少に歯止めがかからないという厳しい現実があります。

社会保険庁が廃止され、社会保険委員と年金委員、健康



「読み聞かせEXPERIENCE」イベント風景

保険委員が一致していない二重構造になっていることが一因と考えられます。今、社会保険委員になる必要性を問われているのだと感じています。

委員会活動を充実させ、委員の数を増やし、活発な活動を行っていくために令和7年4月に向けて、札幌地区4委員会(札幌西・札幌東・札幌北・新さっぽろ)、小樽および岩見沢の6委員会を統合すべく協議に入りました。統合し一つの委員会となることでスケールメリットがあると考えています。

会費収入の増加により財務的にも強固なもととなり、実施する事業もより内容の濃いもの、そして参加人数の増加により大きな会場で開催することができそうです。

例えば、総会の後に著名な方に講演をお願いしたり、年金を支えてい

る現役世代や将来の年金を担う子供たちのためにイベントを行ったり、いままでも単独では出来なかったことが可能になるでしょう。

当委員会では、一昨年より子供たちのためのイベントとして、札幌在住の絵本作家でありますSORAさんとノーザンライツオーケストラさんをお招きして、絵本の読み聞かせと一緒に踊りながら歌遊びが楽しめる「読み聞かせEXPERIENCE」を行いました。

毎回、大変好評をいただいております



岩田地崎建設株式会社社屋

ですので、定例のイベントとして育て、続けていきたいと考えています。

これからも、社会保険委員として積極的に委員会活動に参加し、長年にわたりご尽力頂いた委員の方へその功績に対して表彰をするなど委員の確保と各企業における社会保険委員の地位確立のため努力していきます。

結びにあたり、全国の社会保険委員の皆様今後のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。

(札幌西社会保険委員会会長)